

研究構想図

- ・社会の状況
- ・子供の実態
- ・保護者の願い
- ・地域の願い
- ・教職員の願い

〈学校教育目標〉

人間尊重の精神を基調とし、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子どもの育成

○心も体もたくましい子

◎進んで考えくふうする子

○いつも仲よく助け合う子

【中教審答申の内容から】

- ・資質・能力の柱としての「知識」「思考力・判断力」「学びに向かう力・人間性」の育成。
- ・主体的・対話的で深い学びの実現を目指す授業改善。
- 【学習指導要領から】
- ・各教科等で育成する資質・能力を明確にしたこと。
- ・各教科等の見方・考え方を働かせて資質・能力を育成すること。

研究主題

子供と共につくる授業の創造

- 目指す子供像
- 主体的に問いを追究し、知識や技能を獲得する子供
 - 自分で調べたり考えたりするための資料や活動、方法等を選択し、自ら学びを進める子供
 - 自分の学んだことや学び方を見つめ直し、次の自分の学びに生かそうとする子供

低学年	中学年	高学年	梅の実
自分で資料や活動を選択したり、グループで意見交流したりして学習を進め、学習を振り返ることのできる子供の育成	自分に合った資料や活動を選択したり、ファシリテーターを中心に話し合いをしたりして学習を進め、学習に応じた振り返りができる子供の育成	問いを解決するのに適切な資料や活動、方法を選択したり、ファシリテーターを中心に目的に応じた話し合いをしたりして学習を進め、自分の学びや学び方を振り返り、次の学びに生かそうとする子供の育成	教師と共に一人一人に合った資料や活動、方法を選択したり、班で意見交流したりして学習を進め、学習を振り返ることのできる子供の育成

主体的に問いを追究できるような問題解決的な学習を展開して、子供が資料や活動、方法を選択できるようにしたり、自分たちで対話的な学習を進めることができるようにしたりする。また、学習で学んだことや学び方を見つめ直し、次の学びに生かせるようにする。授業の展開や子供の反応に応じて、教師は子供に委ねる場面と助言や問い返しをする場面を判断し、授業を展開していくことで、子供と共につくる授業の創造が実現できるだろう。

仮説

研究内容

- 研究内容① 主体的に問いを追究する工夫
- 研究内容② 子供に委ねるための工夫
- 研究内容③ 子供の学びを確かにする評価

手だて

手だて①
問題解決的な学習の展開
子供が、主体的に問いを追究するための工夫

手だて②
委ねる時間の設定
子供に選択肢を与え、自分で選択・判断し、学びを進める工夫

手だて③
ふりかえりの活用
1 単位時間と単元・小単元全体を振り返る問いの設定

手だて④
ファシリテーター
話し合い活動をする際の、良い場づくりの工夫

手だて⑤
教師の待ちと出
積極的に教師は子供を待ち、必要に応じて、指示や問い返しをする工夫